Fresh Talk
～ フレッシュトーク ～

↑工藤雄大さん（左）、橋本北飛さん（右）

←橋本さんの練習の様子

工藤さんの→練習の様子

雄武高校陸上競技部所属
橋本 北飛（はしもと ほくと）さん・工藤 雄大（くどう ゆうだい）さん

今回、フレッシュトークの取材に応じてくれたのは、雄武高校陸上競技部に所属する橋本北飛さん（2年生）と工藤雄大さん（2年生）。

6月に開催された全道大会において、橋本さんがハンマー投げ3位、工藤さんが同大会円盤投げ5位、やり投げ3位とそれぞれ入賞し、8月2日から札幌市で開催される「全国高校総体陸上北海道インターハイ」への出場権を勝ち獲りました。

全道大会の感想とインターハイへの意気込みについて聞くと、橋本さんは「選手や技術などレベルの高い場所で競技に挑むことができ、良い経験になりました。空（から）ターン※1を地道に繰り返して体に動作を覚えこませる練習を中心にしていき、全国大会でも、しっかり自分の投げができるよう頑張ります」と自己ベストの大幅な更新を目指します。

工藤さんは「全道大会でも自分の力を出し切り、インターハイの出場が決まり嬉しく思う反面、目標としていた順位を獲ることができず、悔しさもあります。この気持ちをばねに、インターハイでは決勝に進出することを目標に頑張ります」と話します。試合の時は、友人に動画の撮影を頼み、記録を伸ばすために投てきのフォームの研究をしてきたそうです。

お二人の競技に対する熱意と努力が強く感じられました。

顧問の石田先生に話しを聞くと「二人はまだ2年生で非常に可能性を秘めており、期待値が高いです。そのため、インターハイを経験して来年はどこまで成長するのかが楽しみです」と二人の活躍と成長に期待を寄せています。

※1 空ターン　投てき物を保持しないで行うターン練習のこと。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、 ― すこやかに、なごやかに、まめやかに ― 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

❖編集後記
Editor's note

▼雄武高校陸上競技部に所属する橋本さんと工藤さんを取材しました。練習を見学させてもらい、6kgのハンマーや細く鋭いやりを投てきする様子はとても力強く、日頃の練習や努力の積み重ねがなせる業なのだと感じました。そのためか、休みの日でも思わず競技の動きをしてしまうことがあるそうです。（松井）

発行　北海道雄武町／編集　総務課情報統計係／〒 098-1792　北海道紋別郡雄武町字雄武 700 番地
電話　0158-84-2121 ／ホームページ　https://www.town.oumu.hokkaido.jp ／印刷　雄武印刷(株)